

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2022年 2月 25日

事業所名 地域生活支援センターHIRANOくれよん

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		広めに確保し、活動場面に応じて使い分けをしている。	
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		法人内で人事考課やOJTを通して各職員が意識を持ち実施されている。	職員会議などの話し合いの場を通して、大きな目標に対しても取り組めるよう検討していきたい。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケートにより意向などを把握しており、可能なことから改善・実施できるよう検討していきたい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価の依頼は出来ていないため、第三者による外部評価の必要性について検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修の機会が確保されている。OJTなどの実施。	社外研修への参加機会も確保していきたい。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員がペアとなり、週替わりで活動内容を考えている。また季節ごとの行事も担当を決めて取り組んでいる。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動プログラムや行事の内容や反省を記録に残し、次回の参考にしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日は外出や長期休暇中はクラブ活動などの取り組みを考えている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝、必ず朝礼の時間を設け、児童のケース、その日の活動内容などについて話し合っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日、終礼の時間を設け、児童のケースやその日の反省点などを振り返り、ノートに記録し、職員間で共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別記録の書き方を統一し、児童の個別に日々の出来事について児童毎に記録している。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		年二回の定期的なモニタリングに加え、必要に応じたタイミングで児童発達支援管理責任者と担当職員とで判断をしている。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童ごとに担当職員を設け、その職員が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			情報共有について不十分な点もあることから、積極的な連携関係が構築できるよう学校側へ依頼していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的ケアが必要な児童に関わらず、子どもにとって必要であれば、積極的に主治医と連絡を取っていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		保護者やサポートブックからの情報がほとんどであるため、就学前に利用していた施設等からの情報収集も行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		保護者の方に、本人の事についてまとめた書面を提示している。	移行先のすべての事業所に対し、保護者経由でなく事業所間で情報提供できるよう努める。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		研修案内などは頂いているので、参加を検討していき、連携をしていきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		新型コロナウイルス予防のため実施が困難である。不定期的ではあるが町会行事などに参加し地域との交流機会を増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		参加を目指して、平野区の放課後等デイサービスの会を進めている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時、連絡帳、懇談などで連絡を密に行なっている。	相互の理解に努められるように引き続き関係づくりに努めていきたい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			どの職員も保護者に対してしっかりとペアレント・トレーニング等の支援が行えるように職員研修など検討していきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に書面による説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		一部の保護者からの要望はある。開催の必要性などについて保護者全体の意見を集約し検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		広報誌の発行に加えSNS(インスタグラム)を活用している。	行事予定の発信も検討していく。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域の町会に入り、行事に参加している。	招待までは至っていないが、一緒に行事などを企画していけるように提案していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			保護者への周知が不十分なため、懇談の機会を利用し周知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			新型コロナ感染予防のため年二回の避難訓練は座学形式で実施した。実際の避難行動については実施の方法を検討していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		別紙にて詳しく明記して説明している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者からの情報に基づき対応している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			